

広
報

びらとり 7・8

みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

第17回小学生陸上競技大会 (7月9日)



特集	平取町地域活性化協議会 活動内容と今後の予定	… 2
特集	「自治基本条例」ってなんだろう？ シリーズ5	… 4
	まちのひろば	… 5
	すこやかだより	…12
	教育委員会からのお知らせ	… 8
	図書館へ行こう	…13

平取町地域活性化協議会

活動内容と今後の予定

今回は、協議会のこれまでの活動成果と現在の活動状況、今後の予定についてお知らせします。

今回は、協議会のこれまでの活動成果と現在の活動状況、今後の予定についてお知らせします。

講習会の開催

昨年度に引き続き、来年3月までに、雇用の創出を目的とし、事業主を対象とする「雇用拡大メニュー」（計8回）と、地域求職者を対象とする「人材育成メニュー」（計44回）の様々な講習会を実施します。

地域活性化協議会とは
平取町における雇用創出と地域経済の活性化を目的として、平成24年1月に設立。構成は平取町、JAびらとり、沙流川森林組合、平取町商工会、平取アイヌ協会、平取建設協会、二風谷民芸組合の7団体。厚生労働省が進める「実践型地域雇用創造事業」に採択され、北海道労働局から委託を受けて、平成30年3月までの予定で6人のスタッフ体制で事業を進めています。

今年度はすでに、販売力を高めるための広報やPR方法、インターネット、具体的にはSNSの活用により効果的な情報発信のタイミンが売り上げに繋がることなどを内容とした雇用拡大メニューの「特産品マーケティング・販売戦略セミナー」を6〜7月に開催しています。

7月〜8月にかけて、「接客・地域ガイド講習」、9月以降は刺繍・染色・織物加工技術習得講習などを予定しています。講習会開催の案内は「まちだより」でお知らせします。



織物セミナーの様子

今後も、有意義な講習会・セミナーを企画開催してきたいと思えます。ぜひご意見・ご希望を協議会までお寄せください。

地域資源活用新商品開発事業 △工芸品新商品の開発▽

昨年度に開発したコースターとキーホルダーに引き続き、工芸品の新商品開発を行っています。

昨年度開発に着手した「るーぷたい」「ぱっぢ」「まぐねっと」の商品力を高めるため、コスト・品質・デザインなどの向上に取り組んでいます。

また、二風谷民芸組合の工芸家の方々が自ら描いた、沙流川流域に伝わるアイヌ



るーぷたい

文様を提供いただき、各商品のデザインを多様化しました。

6月25日に札幌ドームで開催された「サッポロモノヴィレッジ2016」に出店して試験販売を行い、お



糸玉ストラップ



まぐねっと

客さまのニーズを把握するマーケティング調査を行いました。

今後引き続き商品の改善に取り組みとともに、「糸玉ストラップ」や「パンダナ」「箸」など、多くの新商品開発を進め、各地でPRと試験販売を実施していきます。

△食品新商品の開発▽

昨年度は、地元産の野菜を使った新商品の開発を行いました。今年度は、町内の協力事業者とともに、地元産の野菜と牛肉を使った「メンチコロッケ」の開発に着手しています。

スイーツの開発としては、平取町で生産されているニワトリの卵「げんきなたまご」を使用した「ボンケーキ」(ボン=アイヌ語で小さいの意)を試作し、5月の「道の駅樹海ロード日高」のイベントと6月の「門別



ボンケーキ



イベント試食会(日高町 道の駅)

競馬場」のイベントで試食会を行い、多くのお客さまに味や食感などについて評価をいただきました。

今後、さらに町内外協力事業者とともに新たなスイーツ開発に取り組みます。

着地型観光システム開発事業

夏休み期間中に、観光案内所を国道237号沿いに開設します。実践支援員が常駐して、立ち寄られるお客さまに平取町の観光資源やルートの案内をします。

また、8月〜9月にエリア案内バス(愛称ボンバス)を運行します。今年度は、観光で札幌方面から来る方を対象に、道南バス「ペガサス号」との接続を目的として、日高町富川と「びらとり温泉ゆから」をつなぐバスを運行し、観光案内を行う予定です。

次に、協議会が開発する体験型観光プログラムをお

客さまに提供し、検証することを目的として、モニターツアーを8月から12月にかけて3回実施する予定です。体験型観光プログラムとしては、「農産物収穫体験」や「ペンダント組み立て体験」などを予定しています。

平取町地域活性化協議会は、町民とともに「びらとり」が若者から年配の方々まで元気で楽しく暮らし続けられるまちになるよう、これからも活動を続けます。どうぞよろしくお願います。

お問い合わせ先

〒055-0107

平取町本町30-7

☎ 2-3091

FAX 2-3092

(月)金・祝祭日除く

8時30分〜17時15分

事務局 アイヌ施策推進課

☎ 2-2341

シリーズ特集

「自治基本条例」ってなんだろう？

シリーズ 5

シリーズの第5回目は、総合計画・行政評価について解説します。

① 総合計画

町の中長期的な視点にたち、総合的で計画的な町政運営を行うため、「総合計画」を策定することを定めており、町政運営のための最上位計画と位置づけ、事業などは計画にもとづいて行うことを定め

① 総合計画

第17条 町は、総合的かつ計画的な町政運営を行うため、めざすべき将来像などを明らかにした基本構想とこれを具体化するための基本計画で構成する総合計画を、町民の参加を経て策定し議会の議決を経なければなりません。

2 執行機関は、総合計画を最上位の計画と位置づけ、町が行う政策は、災害復旧事業などの緊急を要するものを除き、総合計画に基づいて実施しなければなりません。

3 執行機関は社会経済情勢の変化に弾力的に対応するため、第1項に規定する基本計画を審議会などの検討を経て、必要に応じ見直すとともに、事業の進行を管理し、その状況を公表しなければなりません。

4 各分野における個別計画等は、総合計画との調整を図って策定するとともに、策定後においても総合計画との調整を図りながら進行を管理しなければなりません。



今年4月からスタートした第6次総合計画

ています。また、策定にあたっては必ず住民参加の手法を経て策定されることを規定しています。

② 行政評価

執行機関は、効果的、効率的な行政運営にむけて行政の事務事業に対し成果目標など、設定する「行政評価」のしくみを確立すること

を規定しています。現在、実施している事務事業評価は執行機関内部で実施する自己

評価ですが、町民参加による外部評価を行うことも定めています。また、評価した結果などは、情報の共有の原則から評価結果をわかりやすく公表することも合わせて定めています。

② 行政評価

第18条 執行機関は、行政活動を点検し改善を図るため、町民参加の外部評価も取り入れた行政評価のしくみを確立し、効果的で効率的な行政運営に努め、その結果をわかりやすく公表しなければなりません。

今回は、シリーズ6「行政改革」、「財政」、「町の財産」について解説します。



アイヌ文化交流フェスティバル in 琴浦 (6/19)

鳥取県琴浦町で行われた「アイヌ文化交流フェスティバル in 琴浦」に平取アイヌ文化保存会が招聘されました。(公財)アイヌ文化財団の国内文化交流事業を活用し行われた催しで、多くの観客の前で伝統舞踊を披露しました。翌日は地元小学校の全校生徒に古式舞踊、ウポポ(座り歌)の体験交流を行い、しっかりとアイヌ文化の発信を行いました。

ウレクrek～風の谷の響～ (6/25)

平取アイヌ協会青年部主催による「ウレクrek～風の谷の響～」が二風谷生活館で行われました。

二風谷アイヌ語教室子どもの部と「おおたか静流」さんとの共演が行われたほか、町外で活躍している「アイヌ・サニケ」、「アイヌアートプロジェクト」、「カピウ & アパッポ」が出演し、歌や踊り・楽器演奏を披露し会場は盛り上がりしました。



小林組ミニ動物園 (6/27)

株式会社小林組が主催しているミニ動物園が同社敷地内で行われ、町内から約300人の子どもたちが集まりました。

長沼町のハイジ牧場からヤギやアヒル、ミニブタなど普段触ることのできない動物たちがやってきました。子どもたちはエサをあげたり、抱いたりして動物とのふれあいを楽しんでいました。



ふるさと給食「ニシパランチ」(7/1)

新鮮・安心でおいしい農畜産物を使い、地場産物に対する理解を深めてもらうことを目的とした、ふるさと給食「ニシパランチ」が町内の小中学校と保育所で提供されました。平取高等学校生が考案した今回の献立は、平取産黒豚をトマトピューレで味付けしたそばろと、卵、ほうれんそうを載せた「平取黒ぶたの三色丼」で、美味しくいただきました。





モンキーリバーランド夏まつり (7/3)

今年で30回目を数えるモンキーリバーランド夏まつりが、ふれあいセンターびらとりの敷地内で行われました。

会場には、射的や輪投げ、ボールプールなどの様々なアトラクションや模擬店、ヤマベのつかみどりも行われ、30周年記念として、陸上自衛隊北部方面音楽隊による演奏会が行われました。

オールドカーフェスタ inびらとり (7/3)

モンキーリバーランド夏まつりの協賛イベントとして、北海道オールドカーフェスタ inびらとりが平取町商工会前駐車場で行われました。

会場には、ダットサン・ブルーバードやトヨペット・コロナ、スズキ・フロンテクーペにマツダ・オート三輪トラックなど、懐かしい旧車およそ40台が展示されました。



二風谷小3年生 社会科見学 (7/4)

二風谷小学校3年生の児童5人が、香田文雄さん(紫雲古津)のトマトハウスを訪れました。

社会科の授業で農家の仕事を学んでいて、この日は特産品のびらとりトマトの育て方から出荷までを学びました。また、トマトの収穫体験も行われ、ハウスに取り置いていた赤いトマトを自らの手で収穫しました。

平取消防署・防災航空隊合同訓練 (7/15)

平取消防署と北海道防災航空隊との合同訓練が行われ、訓練終了後に防災ヘリコプターが一般公開されました。防災ヘリコプターは、主に山や川・海などの救助活動に使用され、ドクターヘリよりも大型です。普段は見ることのできないヘリコプターが公開されるということで、見学に訪れた方々は写真を撮ったり隊員に質問をしたりしていました。



振内橋見学会 (7/16)

北海道開発局室蘭開発建設部では、橋の老朽化対策として、国道 237 号振内橋の架け替え工事を実施していました。新しい橋の供用前に完成セレモニーと見学会が行われ、地域住民およそ 30 人の方が参加しました。参加した方々は、完成した新しい橋を徒歩で渡り、完成を祝福していました。なお、旧橋は後日解体撤去されます。



台湾サイクリスト招聘事業 (7/16)

日高の魅力ある風景を台湾と道内外に発信することを目的とし、日高管内観光連盟や日高地域日台親善協会などが台湾の女性サイクリングチームを招聘しました。7月14日から17日まで日高管内に滞在し、各町の観光施設を自転車で巡りました。平取町には16日に入り、アイヌ文化博物館の見学やアイヌ古式舞踊の体験などを行いました。

中体連全道大会出場選手激励会 (7/19)

7月25日から道内各地で行われる北海道中学校体育大会に出場する選手の激励会が、中央公民館で行われました。

平取中学校から5種目（陸上・剣道・バドミントン・卓球・柔道）10人の選手が全道大会へ出場します。遠藤副町長・庄野教育長から激励のエールがおくられました。

北海道中学校体育大会出場選手激励会



子ども教育委員会 (7/25)

町内の小学生が1日限りの教育委員となり、意見や要望を出し合い教育行政の推進の参考とするための子ども教育委員会が行われました。今年は『私たちが住んでいる「まち」を知り、全国の人たちに知ってもらうためのPR方法を考える』と題したテーマが設けられ、発表ではスライドを使用したり劇仕立てにしたりなど趣向を凝らしていました。



教育委員会からのお知らせ

お互いを思いやり、安心な学級・学校を！ ～平取小学校3年生、人権教室で学ぶ～

7月7日、平取小学校3年生の教室において、人権教室が開催されました。

はじめに、人権イメージキャラクター「人KEN まもる君」と「人KEN あゆみちゃん」の紹介とキャラクターのデザイナーで、漫画家のやなせたかしさんについて、加えて、やなせさんのこれらのキャラクターや漫画アンパンマンに込めた願い、「誰もが安全で安心して生活できる世の中」ということについてもお話をされました。

続いて、アニメVTR「プレゼント」を視聴し、学級内でのちょっとしたいじわるやいざこざがいじめにつながること、いじめられている子の立場になって考えることの大切さ。必要な時に「ごめんね」が言えることの大切さについて学習しました。

まとめと振り返りでは、VTRの中の登場人物のそれぞれの気持ちを子どもたちとともに考え、だれもお互いのことを思いやり、安心な学級や学校であってほしいということを確認しました。子どもたち一人ひとりが真剣に考え、有意義な1時間となりました。さらに、いじめにあって困ったときには、担任の先生や家族に相談することが大切だということも確認しました。

最後にイメージキャラクター「人KEN あゆみちゃん」が学級に登場し、子どもたちとの交流や記念撮影を行い人権教室は終了しました。（11月には4年生も実施予定です）



夏休みも残り2週間 生活を見直し、二学期へ！

夏休みも残すところ2週間あまり、規則正しい生活で充実した毎日を送っていますか？ 学習課題などは順調にやり遂げていますか？

子どもたちが目を輝かせて二学期を迎えられるように、保護者としても夏休みの子どもの様子を振り返り、改めて次の三点を確認し、体調や生活習慣を立て直す応援を心がけていきましょう。



①「自ら取り組む規則正しい生活」

家族に頼らずに、自らの手で生活リズムを確立していますか。少しずつでも学校生活のある生活リズムへの変換を！

②「人や自然・地域と関わる活動」

外に出て遊び、近所の人にあいさつし、地域行事などにも積極参加、ラジオ体操も！

③「安全第一」

夏の行楽シーズンの真最中です。交通安全に気をつけることはもちろんのこと、不審者などへの対応も含めて十分に注意をしてください。中学生・高校生などはスマホなどにも責任ある対応を十分に行ってください。危機管理の徹底（危険はあらゆる場所に存在します。危険予知をしっかりと！）を親子で考えてみてはどうでしょうか。

事件・事故に遭うことなく、充実した日々を過ごすためにも、子どもの行動を身近で見る夏休みの今、家庭内でも配慮できることは多くあります。

(子) 行き先を告げていますか (保護者) 行き先を確認していますか
一日の生活を振り返ったコミュニケーションは取れていますか

生涯学習事業・子育て講座 ～木育ひろばで楽しく遊びました～

幼児から小学生を対象とした木育ひろばは、昨年は、ふれあいセンターの多目的集会室を会場にしていたのですが、今年は、中央公民館の大ホールで6月11日㊦に開催しました。

この講座は、例年、多くの親子連れが参加されている講座で、今年も、木の玉のプールやカプラ、木製小型玩具などを会場に用意しました。



木の玉のプールは、直径3.5センチメートルほどの木製の玉が直径3メートルの柵の中に大量に入っているモノで、子どもたちは、その中に入って寝そべってみたり埋まってみたりと楽しそうに遊んでいました。

また、過去の子育て講座で実施した『キッズドール』という、手足などが動く木製人形を作成するワークショップも行っており、以前に参加した子は、「お友だちを作りに来たよ～」と、嬉しそうに木製人形を作っていました。

子どもたちには、普段遊んでいるプラスチックなどで出来たおもちゃとは違った、木の匂いや、ぬくもりを感じてもらえたと思います。

保護者の方々には、後片付けのお手伝いをしていただき、とても助かりました。

実施予定日	内容	開催場所
9月10日㊦	おもちゃの病院	ふれあいセンターびらとり
10月8日㊦	助産師 岡野真規代氏による講演	中央公民館
11月15日㊦	びっくり箱（新冠）による読み聞かせ	ふれあいセンターびらとり

※都度、まちだよりやポスターで周知します。ぜひ参加してください。

【問い合わせ先】平取町教育委員会 生涯学習課 社会教育係（☎ 2-2619）

教育委員会からのお知らせ

第17回平取町小学生陸上競技大会 ～天候にも恵まれ好記録連発！～

7月9日、平取中学校グラウンドで陸上競技大会が開催され、昨年より15人多い134人（町内児童の49%）が参加しました。

大会当日は気温もそれほど高くなく、絶好のコンディションのなか競技が行われました。選手たちはたくさんの声援を浴びながら、自分の持つ力を最大限に発揮し、記録を競い合いました。

新記録は生まれませんでしたでしたが、各競技、数多くの好記録が飛び出しました。



フィールド種目	氏名	小学校名	記録
走り幅跳び 共通男子	藤谷 瞭至	平取	3.66 m
共通女子	高橋 桃葉	振内	3.29 m
ソフトボール投げ共通男子	岡田 浩暉	紫雲古津	51.60 m
共通女子	木村 汐稀	貫気別	36.45 m

トラック種目	氏名	小学校名	記録
60 m 1年男子	太田 侑心	振内	11秒87
女子	橋 風花	紫雲古津	12秒22
2年男子	露木 慶治	二風谷	11秒36
女子	荒木 紗依花	平取	11秒10
100 m 3年男子	仁岸 知士	平取	17秒70
女子	粟津 結葵	紫雲古津	18秒51
4年男子	神田 森太郎	平取	16秒71
女子	島野 未慧	平取	17秒37
5年男子	石川 大地	平取	15秒89
女子	吉田 喜咲	振内	16秒98
6年男子	藤谷 瞭至	平取	15秒94
女子	高橋 桃葉	振内	16秒06
800 m 共通男子	稲原 永久	平取	3分00秒01
女子	山道 光咲	二風谷	3分13秒80
4×50 mリレー 男女共通 (1・2年)	川端 祐太 高橋 歩夢 山口 朝貴也 太田 侑心	振内	40秒86
4×100 mリレー 共通男子 (3年以上)	嶋田 妃華莉 西村 梨世 藤谷 瞭至 仁岸 咲文	平取	1分06秒20
4×100 mリレー 共通女子 (3年以上)	猪股 沙季 長野 結来 吉田 喜咲 高橋 桃葉	振内	1分06秒83

三種競技	氏名	小学校名	記録
共通男子	稲原 永久	平取	957点
共通女子	木村 汐稀	貫気別	801点



※記録は各競技1位のみ記載

博物館コラム「クワリの役割」

強大な力の持ち主、キムンカムイ（熊）でも比較的簡単に仕留める道具があります。クワリ、あるいは、アマッポ、と呼ばれるものです。

動物が、通り道に張られていたことを気付かず紐を体に引っ掛けたまま動き続けることで留め具がはずれて自動的に矢が発射され体に刺さる、というとても優れた仕掛け弓です。矢尻には自生植物、トリカブトから採取される猛毒、スルク（毒）が塗り込まれているのでどんな巨大熊でも1時間以内には死ぬといわれています。



二風谷アイヌ文化博物館で
展示されているクワリ

このような危険な仕掛けを設置した場所の手前には目印を付けて置くそうですが、昔の大自然広がる北海道といえども、どこでも気ままに歩き回することは出来なかったのでしょうか。

普通は、エキムネクワ（山杖）という杖を持ち、このような仕掛けにも気をつけて歩いたそうですが、もしも万が一、人間がクワリに掛かるようなことがあっても、紐の長さ遊びがあるので普通は難を逃れることができます。

人間は2足歩行で幅が狭いですが、動物は4足歩行で幅が広いので、動物にだけ刺さって、人間の場合は体の後ろを矢が通過するように調整しているのです。

しかし2人、3人で歩くと後の人がとても危なくなります。矢が体をかすり、服が破れたという人の聞き書きが残っており「私はその瞬間死んだと思った」と語られています。

人に刺さるとすれば太ももに刺さるのだそうですが、矢尻は返しが付いた形状になっており簡単に引き抜くことなど出来ないのです、助かるために矢を肉ごとえぐり取ることがあったそうです。

明治になりクワリは禁止されますが、北海道各地くまなく官憲が及ぶはずもなく明治の終わり頃までは使用されていました。後には同じ原理で銃の引き金を引くタイプのもも使われています。

ちなみにスルク（毒）で仕留めた動物は、矢が刺さった箇所、拳大の肉を除けば、あとは問題なく食べられるそうです。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

市民後見人養成講座 募集セミナー開催

平取町では、認知症になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざし、『市民後見人』の養成講座を11月より開催します。(5日間の講義・実習)

これに先立ち、成年後見制度や市民後見人の役割・責務、また講座内容を理解してもらうためのセミナーを開催します。日程は9月6日(予定)し、詳細は「まちだより」などで周知します。

その前に、簡単に市民後見人について説明します。



市民後見人とは

認知症や障がいなどで判断能力が不十分になった人を支援するため、家庭裁判所から選任された地域の一般住民です。

この「市民後見人」には、次のようなことが要求されます。

① 財産を守る

本人の資産や負債、収入と支出の内容を把握し、本人のために必要な支出を計画的に行い、財産を守ります。

② 連携する

最適なサービスを提供するたため、必要に応じてケアマネージャーや弁護士などの専門家と連携します。

③ 生活を守る

日常的な訪問によって、本人の健康状態や生活状況を確認するほか、必要に応じて医療・福祉サービスの手続きをします。

したがって、市民後見人は、地域社会での生活の延長線上で、判断能力が不十分に

なった人の立場に立って、その人の生活を支援するため、何ができるかを考えることのできる素養を有していることが必要になります。



「後見人」
本人に代わって財産などを管理します。
安全で快適な生活への配慮をします。

必要な契約は
利用!
・介護サービスの契約をします

悪徳商法
不利益な契約は
STOP!!

市民後見人養成講座を 受講する意義

市民後見人になるには養成講座を受講することが必要になりますが、受講することで必ず市民後見人にならなければならないというわけではありません。

後見制度について学習の機会を皆さんが持つ事により、地域の見守りの意識が高まります。それが「町の福祉力の向上」、「虐待の防止」といった町全体の力に繋がっていく、支援を必要とされている方たちへの早期発見に繋がっていきます。



【お問い合わせ先】

保健福祉課 介護支援係

(ふれあいセンターびらとり)

☎ 2・3700

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00 土・日曜日 9:30～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 〓 risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『中島ハルコはまだ懲りてない!』
 /林真理子
 『希望荘』/宮部みゆき
 『裸の華』/桜木紫乃
 『ずんずん!』/山本一力
 『陸王』/池井戸潤
 『帰郷』/浅田次郎
 『大沼ワルツ』/谷村志穂
 『私の消滅』/中村文則
 『くるすの残光 5 最後の審判』
 /仁木英之
 『暗幕のゲルニカ』/原田マハ
 『いまそこにいる君は』/北方謙三
 『大人の流儀 6』/伊集院静



【家庭・生活・趣味】

『掃除は「ついで」にやりなさい』
 /新津春子
 『私の好きな薬味たっぷりレシピ』
 /藤井恵
 『かぎ針で編むおしゃれな
 タッセル&フリンジこもの』
 /朝日新聞出版



【社会・その他】

『貧困 子供のSOS』
 /読売新聞社会部
 『平成28年熊本地震 特別報道
 写真集』/熊本日日新聞社
 『モノから見たアイヌ文化史』
 /関根達人



北海道内の図書館司書が おすすめしています

今年の4月から朝日新聞で、北海道の各市町村の図書館司書がおすすめの本を紹介するコラムが連載されています。

「図書館発! おすすめ本箱」というコーナーで毎週火曜日に掲載され、児童書や小説、まんがなど様々なジャンルの本が紹介されています。紹介された本のうち、当館にあるものを新聞記事と合わせて展示しています。興味のある方は図書館カウンターをご覧ください。

展示している本は貸し出しもできます。また当館に無い本でも他の図書館から取り寄せて借りることも可能ですので、お探しの本がありましたら職員にお問い合わせください。



図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【9月】

1日（木）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

2日（金）【振内地区】

10:00～11:00 山の駅ほろしり館
 11:15～11:45 岩知志ふれあい館
 13:30～14:00 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

8月の休館日

1・8・11・15・22・29日

9月の休館日

5・12・19・20・22・26日



